

調査・研修等計画届出書

令和2年6月10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田 利勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

| | | |
|--|--|---------|
| 期 日 | 令和2年6月17日から6月17日まで（泊1日） | |
| 調査先・研修名 | 地方議員研究会 | |
| 会場名（会場所在地） | 大阪市淀川区宮原2丁目6-639 | |
| 調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて） | 「私がうなった質問はこれだ」 資料購入 USB動画データ 「質問」は議員の仕事の大きな一つである。 理事者に対しての質問内容や課題について学び、今後の参考としたい為。 | |
| 議長名の依頼 | 要 ・ 不要 | 依頼先（名称） |
| | | |
| 同行者名 | | |

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和2年6月17日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田利勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

| | |
|--|--|
| 期 間 | 平成 2 年 6 月 17 日～ 6 月 17 日(0泊1 日) |
| 調査先 研修先 | 地方議員研究会 (大阪市淀川区宮原2丁目6-16-639) 資料購入—USB 動画データ— |
| 調査項目 または 研修内容 | 私がうなった質問はこれだ |
| 質問の3つのタイプ 自己主張型＝政治的課題についての自らの立場と意見を表明する事を目的とする。議事録又は議員広報に乗せることが重要。 課題・責任追及型＝政治的課題について責任を追及し、政治的イニシアチブを握る事を目的とする。 | |

政策提案型＝住民にニーズのある課題について、解決のための施策・事業を提案し、執行部に予算化・条例化させることを目的とする。

政策提案型質問の構造（役所内マネジメントサイクルに乗せるために）

質問の基本的な構造＝政策立案プロセス

現状認識・・・共有（数字をつける、そして物語）

現状認識の正確さは不可欠

自分で認識する事。（ヒアリング、取材の生データは効果的）

正確さを担保するためには数字をつける（数字をつける一出处を明確に）＝省庁発表の数字を使う事。

さらに、物語（ストーリー）がある事。住民の視点に立った物語であると良い。

調べれば分かる数字を議場で問うのはムダ（予め調査して出处を指摘すればよい）なぜ事前に担当者に聞かないのか。

- ・議員が知る課題は、おおむね執行部も認識していると考えた方が良い。
- ・その認識を具体的な現実（物語）として改めて示すこと。
- ・担当者は、むしろ議員よりよく知っている場合もあるので、事前の質問聞き取り等の際に逆取材することも有効（逆取材情報を基にさらに現場を調査）
- ・関係者が不知の情報の指摘はイニシアチブを握る材料になるが、それだけ情報の正確さを担保すること（情報源）が重要。
- ・執行部と現状認識（事実、法、制度、経緯）に誤解がある・・・質問に答えることは無理である。

課題認識・・・課題認識が最も重要（問題発見能力を磨く）

- ・問題発見能力は日頃の問題意識と学習一自治体の守備範囲である事は大前提
問題発見とは、現状の制度（ルール）では解決できないということ
を発見する事であるから、現状の制度（ルール）を知らなければ、
問題発見は出来ない。
- ・正確な現状認識から、現制度や地域事情を踏まえた課題認識であれば共感を獲得できる。
- ・議員及び周辺的环境も大切。
- ・まちづくりの理念・・・趣旨一貫した理念の下での質問である事により、執行部の聞く姿勢は違ってくる。すべての要望に応えるわけにはいかないが、住民代表である議員の中心的なテーマであれば、実現できればいい、という思いは執行部にはある。
- ・社会情勢・環境に対する正確な認識・・・課題が現在の社会情勢や環境の下で、解決しなければならぬ優先度が高いものである事。
- ・支援者・課題と考えているのは私一人ではない、ということが、共感を得やすくする。
多くの強力な支援者がいれば共感はより得やすい。
- ・タイミング・・・共感を得やすい時期。国の政策の方向性にあっているか、とか。

テーマは続ける

- ・質問は議員の仕事の大きな一つ
- ・仕事は成果を出してナンボ
- ・成果を出すためには段取り（計画）が必要・・・質問・答弁・調整のストーリーを考える・・・質問は成果を出すための推進力という位置付け・・・一回の質問では成果は出ない。
- ・テーマを続ける事、同じ質問を繰り返すこととは別。同じ質問をする際は、どのような事情の変更（量的、質的变化）があったが必要（過去の答弁を調べておく必要）テーマは一貫して、深掘りしていく。

執行部が一目置く議員

- ・理論整然と論理を展開する＝執行部も議員も理解が深まり、場の雰囲気緊張する。
- ・議場内外での主張に筋が通っている。
- ・執行部の曖昧な答弁には本気で怒るが、ときにユーモアを交える。

質問はプレゼン

- ・簡単な言葉で（市民に説明する事を前提に、自分が理解できている言葉で質問）
- ・理論的に（わかりやすく必要性を）
- ・創造的に魅力的に（興味を引くように解決の物語を）
- ・実現可能性を（できそうと感ずるように）

質問はプレゼンテーション

- ・共感と気づきが無ければ人は動かない

検証

- ・当事者や住民の意見を聞く。
- ・他団体の成功事例を参照する。
- ・専門家の意見を聞く。

いい質問の絶対要件

- ・現状認識が正確で共有できる。
- ・課題認識が時宜を得て共感できる。
- ・仮説（提案）が十分検証されている。

課題・責任追及型の質問

- ・課題・責任追及型質問では現状認識の正確さが不可欠。
- ・議員の拾い上げた生の事実で、執行部が不知の事実が質問・答弁のやり取りのイニシアティブを握るのに有効。
- ・その上で、執行部の課題認識や仮設の矛盾を突く＞課題認識の前提事実や仮説が否定されれば政策は進める事は出来ない。

目の付け所

- ・違法・不当な権限の行使
- ・成果のない事業の継続
- ・財政運営上の課題

- ・首長の政治家として不適切な行為
- ・議会無視・軽視

機を逃さない

- ・法律知識が必須

所感

議員の質問は議員がいかに関心の内容について、研究し、調査し、質問の課題について勉強しているかが大切であり、その為には質問する事についてすべて理解し、理論的に質問していく事である。そのことによって執行部の答弁も前向きな質の高いものになるこの事に尽きる。

アフターコロナ時代の 役所を動かす 質問のしかた

in東京



講師

かわもと たつし
川本 達志

元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などに当たる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7 学陽書房)

10:00~12:30

あなたの知らない議会のチカラ

- ・執行部が怖い議会の権限
- ・議案に反対したことがありますか?
- ・質疑、質問、討論の効用
- ・市長、副市長、職員とのつきあい方
- ・コロナ対策の要望書の効果は?
- ・コロナ補正予算の臨時議会はいつ開催しましたか?

7/15
(水)

7/29
(水)

14:00~16:30

大学の先生ではわからない実務的な質問の仕方

- ・成果を出すための段取り
- ・課題認識と共有の重要性
- ・どのように質問を組み立てると役所に響くのか?
- ・コロナ対策で議員はどう動くのが効果的か?
- ・職員体制や保健所機能は充分か?
- ・地域経済にどのような影響が考えられるか?

7/16
(木)

7/30
(木)

10:00~12:30

私がうなった質問はこれだ!!

- ・よい質問の絶対要件3つ
- ・検討しますへの切り返しかた
- ・政策提言型の質問は、こうすると役所は考えざるを得なくなります
- ・アフターコロナ時代の政策提言の要点
- ・現場を見て質問をする重要性
- ・アフターコロナに役所はどういう動きをするか

14:00~16:30

元副市長が考える財政関連質問のポイント

- ・事業が予算になるまでのスケジュールをおさえる
- ・地方交付税と臨時財政対策債のおさらい
- ・経常収支比率と一般財源の考え方
- ・人口減少時代の財政関連質問のポイント
- ・コロナ交付金の基礎から活用まで
- ・コロナ対策に財政調整基金をどう使ったか。緊急事態の際の地域差と重要性

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

in東京

| | | | | | |
|----------------|-----------------|--|----------------|-----------------|--|
| 7月15日 (水曜日) | 10:00~ 12:30 | <input type="checkbox"/> あなたの知らない議会のチカラ | 7月29日 (水曜日) | 10:00~ 12:30 | <input type="checkbox"/> あなたの知らない議会のチカラ |
| | 14:00~ 16:30 | <input type="checkbox"/> 大学の先生ではわからない 実務的な質問の仕方 | | 14:00~ 16:30 | <input type="checkbox"/> 大学の先生ではわからない 実務的な質問の仕方 |
| 7月16日 (木曜日) | 10:00~ 12:30 | <input type="checkbox"/> 私がうなった質問はこれだ!! | 7月30日 (木曜日) | 10:00~ 12:30 | <input type="checkbox"/> 私がうなった質問はこれだ!! |
| | 14:00~ 16:30 | <input type="checkbox"/> 元副市長が考える 財政関連質問のポイント | | 14:00~ 16:30 | <input type="checkbox"/> 元副市長が考える 財政関連質問のポイント |

| | | | |
|-------------------|--|-------|-----------|
| お名前 | (フリガナ) | 貴議会名 | (期目) |
| 電話番号 | () - () | FAX番号 | () - () |
| E-mail | @ | | |
| 領収証宛名 | ご本人様名 ・ その他 () | | |
| 当日不参加の場合はチェックください | <input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) <small>音声データの無断転載等はいしらないことに同意して申込みます</small> | | |

開催
場所

TKP東京駅日本橋
カンファレンスセンター

[8講座同場所] 〒103-0028 東京都中央区
八重洲1-2-16 TGビル

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



- 東京メトロ東西線 日本橋(東京都)駅 A1出口より 徒歩1分
- 都営浅草線 日本橋(東京都)駅 A1出口より 徒歩1分
- 東京メトロ銀座線 日本橋(東京都)駅 A1出口より 徒歩1分
- JR京浜東北線 東京駅 日本橋口より 徒歩4分
- JR京葉線 東京駅 日本橋口より 徒歩4分
- JR快速エアポート 成田 東京駅 日本橋口より 徒歩4分
- JR快速アクティール 東京駅 日本橋口より 徒歩4分

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようくれぐれもご注意ください。



過去の

人気セミナーの 動画データとレジュメ 限定販売

交通費が
もったいない



あのセミナーを
受けそびれて
なくなって
しまった



次の議会で
質問したいのに
タイミングが
合わない



こんなお声にお答えして

USBメモリに入れて
郵送いたします!

ご希望の講座のチェックボックスへ チェックください。



いせき ともし
伊関 友伸
城西大学経営学部
マネジメント総合学科
教授

人口減少社会における
持続可能な医療、介護を考える

本格的少子高齢社会における
社会保障政策を考える

人口減少・地域消滅の
時代における地方議会改革

本格的少子高齢社会における
介護と健康政策



もり ひろゆき
森 裕之
立命館大学
政策科学部教授、
博士
(政策科学)

あなたの自治体の財政を確認①

- ・ 決算カードを見られるようになる
- ・ 決算カードを比較したら財政が分かる
- ・ 歳入について詳しく解説します

あなたの自治体の財政を確認②

- ・ 歳出について詳しく解説します
- ・ 決算カードを使えるようになる
- ・ 財政の知識を政策に活かす



あだち よしみ
足立 泰美
甲南大学経済学部
准教授、博士
(医学、
国際公共政策)

地方財政 歳入

- ・ 地方交付税のしくみ
- ・ 臨時財政対策債
- ・ 経常収支比率～特定財源・一般財源

地方財政 歳出

- ・ 単独事業と補助事業
- ・ 社会保障費と自治体財政
- ・ 公債費の考え方～プライマリーバランス

教育予算の基礎

- ・ 都道府県と市町村の役割
- ・ ICT教育について
- ・ 少人数教育と自治体財政

子どもの貧困問題

- ・ 地方自治体での子どもの貧困対策
- ・ 子どもの貧困対策に関する大綱の解説
- ・ 子どもの貧困に関する指標

ご希望の講座のチェックボックスへ チェックください。



やまなか としゆき
山中 俊之
株式会社グローバルダイナミクス代表取締役
「2030SDGs」認定ファシリテーター
国際教養コーチ

人事評価と給与への反映



くぼた たかし
久保田 崇
立命館大学教授
元・陸前高田市 副市長

陸前高田市における復興の現状と課題

教訓を活かした防災まちづくり



みなみ まなぶ
南 学
東洋大学経済学研究科
公民連携専攻客員教授

財政問題としての公共施設マネジメント

公民連携と指定管理者制度

公会計改革で変わる議会審議



かわもと たつし
川本 達志
元・廿日市市副市長

あなたの知らない議会のチカラ
・執行部が怖い議会の権限
・市長、副市長、職員とのつきあい方

大学の先生ではわからない実務的な質問の仕方
・課題認識と共有の重要性
・どのように質問を組み立てると役所に響くのか?

私がうなった質問はこれだ
・よい質問の絶対要件3つ
・検討しますへの切り返し方

元副市長が考える財政関連質問のポイント
・地方交付税と臨時財政対策債のおさらい
・経常収支比率と一般財源の考え方

動画・資料の内容は過去のもので、最新の情報とは異なる場合がございますが、ご了承ください。

お申込みは FAX または メールにて

メール申込み

mail@chihogiken.jp

FAX申込み

下記申込書に明記の上

06-7878-6308 宛にお送りください。

| | | | |
|--------|-----------------|-------|--------|
| お名前 | (フリガナ) _____ | 貴議会名 | (期目) |
| 電話番号 | () - | FAX番号 | () - |
| 郵送先住所 | 〒 () _____ | | |
| E-mail | _____ @ _____ | | |
| 申込み合計 | 15,000円 × | 講座 = | 円 |

※ご指定が無い場合は議会事務局様宛で郵送させていただきます。

料金 1講座分 15,000円

お問い合わせ

地方議員研究会

〒532-0004

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

mail@chihogiken.jp